

# 元気ふくしま 応援宣言!

File No.238

**全** 日本バレーボール高校選手権大会「春高バレー」が1月5日から東京体育館で行われ、男子の福島商が県勢8年ぶりとなるベスト16に進出しました。1回戦で春高初勝利を挙げると、2回戦でもフルセットの熱戦を制して鹿児島商を撃破。3回戦で駿台学園（東京）に敗れましたが、見事な快進撃を見せました。2回戦の鹿児島商戦。羽田さんが勝利を決めるスパイクを叩き込み、最後のトスを上げた丹治主将はガッツポーズしました。「全員でつかんだ1勝です。全員で立て直すことができました」と納得の表情を見せました。第3セット終盤、佐藤さんがピンチサーバーとして高校初の公式戦出場。緩いサーブで逆転し、大会登録の3年生9人全員がコートに立って勝利を収めました。丹治主将は「この3年間、マネージャー含め10人で苦しさを味わってきた。3年生で勝利をもの取りたかった」と喜びました。

◇福島商の今大会成績◇

- ▽1回戦  
福島商2-1近大付 23-25、25-20、25-18
- ▽2回戦  
福島商2-1鹿児島商 25-20、15-25、25-23
- ▽3回戦  
駿台学園 2-0福島商 25-16、25-21

**DATA**

2021年(令和3年)1月7日(木曜日) スポーツニッポン 9版B福島(22)

# 県勢8年ぶりの16強

## 福商

男子



2回戦が行われ、男子の福島商は鹿児島商を2-1で破り、県勢として8年ぶりに16強に進出した。1-1の第3セットにセッター・丹治高主将(3年)を中心に攻めのバレーを展開し、フルセットの熱戦を制した。5年連続出場の子の郡女大付は東京都大塩尻(長野)に0-2のストレートで敗れた。きょう7日は3回戦などが行われ、福島商は駿台学園(東京)と対戦する。

攻めのバレー展開  
羽田の強烈なスパイクが決

第73回全日本バレーボール高校選手権大会「春高バレー」第2日  
(6日 東京体育館)

▽男子バレー  
福島商 25-15、25-20、23-25、25-20  
1鹿児島商

フルセットの熱戦で14年ぶりとして、セッターとして活躍した丹治高主将

大会登録9人全員起用で2回戦に

### 県勢8年ぶりのベスト16進出!!

## 福島商業高校 バレーボール部


